

読書推進運動



公益社団法人
読書推進運動協議会

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-32
出版クラブビル6階
TEL 03(5244)5270
FAX 03(5244)5271
発行人 小塚 昌弘
編集人 片岡 伸子

No.632 ★公益社団法人 読書推進運動協議会 定時総会(1~4頁)

定価60円 会員の購読料は
会費の中含まれる

公益社団法人 読書推進運動協議会 2020年度 定時総会

「ステイ・ホーム」下でこそ 読書の楽しみを再提案してゆく



感染症対策として例年より席の間隔を開けて総会を開催

6月19日(金)午後3時より、東京都千代田区の出版クラブビル会議室において、「公益社団法人 読書推進運動協議会 2020年度定時総会」が開催された。

野間省伸会長の挨拶のあと、定款第16条の規定により、野間会長が議長席につき、議事を進行した。今回の総会は新型コロナウイルス感染症対策のため、会員に委任状の積極的な活用をお願いしたこともあり、実際の出席会員は12名、委任状提出会員は202名、合計214名の出席となった。定款第17条の規定による定足数、総会員の半数143名を超えたので、総会は成立した。定款第20条の規定により、総会の議事録記名押印者として、野間会長、設楽敬一常務理事、秋本敏理事の3名が指名された。

第一号議案は「2019年度事業報告書および決算報告書」承認

認の件」。「2019年度事業報告書」については、齋藤健司事業委員長に代わり、小塚昌弘事務局長から報告が行われた。つづいて「2019年度決算報告書」については、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録などについて、堀内丸恵財務委員長に代わり、小塚事務局長から説明が行われた。その後、監事を代表して佐藤潤一監事が、本決算は公正かつ正確であることを認証するとの監事報告を行った。議長は出席会員に諮り、それぞれ全員異議なく承認可決された。

第二号議案は「役員交替」承認の件」。読書推進運動協議会の役員は任期は2年であり、本年は改選期ではないが、日本書店商業組合連合会推薦役員について本日付で船坂良雄常務理事、西村俊男監事が辞任し、後任として矢幡秀治、春井宏之の2名がそれぞれ推薦された。定款第22条の規定に従い、議長は、以上の辞任、推薦について出席会員に諮り、全員異議なく原案どおり承認可決された。なお新任の役員2名の任期は定款第26条により、残り1年となる。

第三号議案は「2020年度事業計画書および収支予算書」報告の件」。「2020年度事業計画書」と「2020年度収支予算書」については、小塚事務局長から説明があり、いずれも、2019年度第3回理事会で承認されたことが報告された。議長は出席会員に諮り、全員異議なく承認された。

第四号議案は「大震災出版復興基金」の管理・運営(公2事業)清算報告の件」。東日本大震災のあと、被災地の読書環境の復興支援を目的に創設された「大震災出版復興基金」について、読進協は「大震災」出版対策本部事務局の一員として管理運営を担ってきたが、同本部が2021年3月末に活動を終了することを受け、同時期をもって「大震災出版復興基金」を清算することが、理事会において5月26日付で書面決議された。その経緯を小塚事務局長が報告。議長は「大震災出版復興基金」の管理・運営(公2事業)清算報告を出席全員に諮り、全員異議なく承認された。

野間議長による閉会の挨拶で総会は閉会したが、閉会后、別室にて2020年度第1回理事会が開催され、定款第32条により新役員が選定された。理事会終了後に総会会場で、役員の新たな役割分担が議長より報告され、すべての議事を終了した。

■挨拶

公益社団法人
読書推進運動協議会

会長 野間 省伸



本日はお忙しいなか、公益社団法人 読書推進運動協議会、2020年度 定時総会にご出席いただき、ありがとうございます。今年度の出版界・読書界は、年初より新型コロナウイルス感染症への対応を余儀なくされ、残念ながら本会の活動も大きな制約を受けることとなりました。

3月の全国一斉休校、4月の緊急事態宣言発令といった、前例のない状況のもとではございましたが、読書推進運動協議会では、今年も4月23日から5月12日にかけて「こどもの読書週間」を主催し、絵本作家・荒井良二さんの明るく元気の出るイラストによるポ

スターを製作して、関係先に配布しました。

全国の図書館・書店・学校が休業や、活動を縮小せざるをえないなか、地域の読書推進活動に、少しでもお役に立てていただけたならば、幸いです。

また、読書推進運動協議会に事務局を置く「子どもの読書推進会議」が、主催団体のひとつとして参加しております。「上野の森親子ブックフェスタ2020」は、5月3日から5月5日の開催予定でしたが、来場者・関係者の健康と安全を第一に考えた結果、やむをえず中止いたしました。

その一方で、よい方向の変化もありました。「ステイ・ホーム」の掛け声のもと、家で過ごす時間が増えたなかで、読書の楽しさが見直されてきています。



2019年の「読書週間」「こどもの読書週間」ポスター



3月の学校休校時には「若い人に贈る読書のすすめ」リーフレットの希望が増加

これまでのあわただしい生活のなかで読了していなかった本を、この機会に読み通したという方も多かったのではないのでしょうか。

また学習参考書、児童書、絵本、コミックなど、書店の店頭で顕著な売れ行きをみせた書目があったことも、注目すべきでしょう。禍いを転じて福となし、これをきっかけとして若い読者を増やして、未来につなげていければと思います。

いつでも、どこでも、ひとりでも、大勢でも読書は時間と場所を選びません。本を読むことの楽しさを伝えるため、読書推進運動協議会はこれからもその活動を充実させてまいります。今後ともみなさまのご支援とご協力をお願いしまして、ご挨拶いたします。

■2020年度 事業方針

新時代にふさわしい 読書推進活動の展開を

読書推進運動協議会は、おかげさまで2019年に創立60周年を迎えることができました。

これまでの活動の蓄積に加え、令和の時代に向けて新たな発想で読書推進活動を支援してまいります。

本協議会の主要事業として、2016年の「読書週間70周年」、2018年の「こどもの読書週間60周年」に続き、長らく読書推進運動に尽力されてきた団体・個人にさしあげてまいりました「野間読書推進賞」が第50回の節目を迎えます。これからも永く、読書の楽しさすばらしさを伝えるべく、地域や職域で堅実な活動を続けてこられた方々を全国から推薦いただき、顕彰してまいります。

また5年ごとに実施している「全国読書グループ調査」を集計した『2018年度 読書グループ総覧』を、論考・年表などを増補した「読書推進運動協議会創立60周年記念号」として刊行します。「こどもの読書週間」「読書週間」の標語は、会員のみなさま、全

国の図書館、そしてホームページで一般の方々にも呼びかけて募集しています。とくに販売会社や出版社には事業委員として深く関わっていただき、それぞれの社員の方々からたくさん応募をいただいています。こうした作業を進めるなかで、事業の認知度をより高めていくようにいたします。2020年春の「こどもの読書週間」の標語は「出会えたね。とびつきの1冊に。」に、秋の「読書週間」の標語は「ラストページまで駆け抜けて」に決定しました。「読書週間」は、ポスターのイラストも一般から公募しており、2016年からは標語にあわせたイラストを公募し、標語と親和性の高い力作が多く寄せられ、ポスターも好評を得ています。「こどもの読書週間」のポスターにつきましては、2014年より絵本作家・荒井良二さんにイラストを、グラフィックデザイナー・杉浦康平さんにデザインをお願いしております。

読書週間事業の一環として行わ

2020 年度役員構成

順不同・敬称略

会 長	野間 省伸	日本書籍出版協会 (講談社社長)
副 会 長	平林 彰	日本出版取次協会 (日本出版販売取締役)
同	森 茜	日本図書館協会 (同前理事長)
常務理事	堀内 丸恵	日本雑誌協会 (集英社社長)
(財務委員長)	同 齋藤 健司	日本書籍出版協会 (金の星社社長)
(事業委員長)	同 矢部 敬一	日本書籍出版協会 (創元社社長)
同	矢幡 秀治	日本書店商業組合連合会 (真光書店社長)
同	設楽 敬一	全国学校図書館協議会 (同理事長)
同	近藤 敏貴	日本出版取次協会 (トーハン社長)
理 事	秋本 敏	日本図書館協会 (同図書館紹介事業委員会委員長)
同	持谷 壽夫	日本書籍出版協会 (みすず書房監査役)
同	千石 雅仁	教科書協会 (東京書籍社長)
同	山縣裕一郎	日本雑誌協会 (東洋経済新報社会長)
同	渡部 正嗣	日本出版取次協会 (日教販社長)
監 事	春井 宏之	日本書店商業組合連合会 (正文館書店社長)
同	竹村 和子	全国学校図書館協議会 (同常務理事・事務局長)
同	佐藤 潤一	日本書籍出版協会 (福音館書店社長)

事務局長 小塚昌弘

れている、全国の読書推進運動協議会の推薦をもとに選ばれる「全国優良読書グループ表彰」と、永年にわたって読書の普及に貢献された団体と個人を表彰する「野間読書推進賞」の顕彰事業は、関係団体や各道府県の読書推進運動協議会との緊密な協力関係のもとに推進しています。

昨年6月の「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」施行や、高齢化、バリアフリー化、多文化化といった社会の変化を反映して、近年は高齢者や障がいを持つ方々に対する地道な読書支援活動を行ってきた団体の推薦・受賞が増えています。読書会、子どもの読書

推進グループの活動にも、ネットワークの構築や活動の後継者づくりなど、新しい動きが見られます。全国の読書推進運動協議会から寄せられた推薦図書をもとに作成する、約21万部の「若い人に贈る読書のすすめ」と、約14万部の「敬老の日読書のすすめ」のリーフレットは、今年度も関係の団体を通じてお配りしていきます。学校や図書館からの問い合わせが多いのは、積極的に活用されている表れだと思います。

ホームページでの「読書週間」「子どもの読書週間」のしおり、ポップなどの素材データの配信も好評をいただいております。さらに魅力ある素材の提供に取り組んでいきます。

2013年12月から行っている「大震災出版復興基金」の口座管理については、基金への募集は終了しましたが、口座自体は閉じていないため、今年度は事業を継続いたします。

現在40道府県にそれぞれの読書推進運動協議会があり、読書推進運動協議会のさまざまな事業を行っていくにあたり、連携を強め、多大な協力をいただいております。しかし、読書推進運動協議会のな

い都府県が、7つあります。こうした都府県にあらためて働きかけ、事業の活性化をはかっています。

2020年度 会員社の異動

退会会員社
○特別会員
株式会社 日本ヴォーグ社
株式会社 WAVE出版
株式会社 竹林館
共同製本 株式会社
麻呂堂印刷 株式会社
○一般会員
神奈川県書店商業組合

会員社数 285
(2020年6月19日現在)

贈りものに。お礼、お返しに。

東山魁夷シリーズ

図書カード NEXT

1,000円「夏に入る」

3,000円「緑溪」

5,000円「秋聲」

10,000円「白馬の森」

◆これまでの図書券・磁気式の図書カードも引き続きご利用になれます。

日本図書普及株式会社

公益社団法人 読書推進運動協議会 2020年度事業		
名称	期間	内容
2020 第74回 読書週間	10月27日 ～ 11月9日 (14日間)	<ul style="list-style-type: none"> ・標語とイラストを募集、標語選定事業委員会とイラスト選定事業委員会にて決定し、ポスター6万5000枚を製作 ・雑誌広告を作成。雑誌協会を通じ、雑誌出版社に掲載協力を要請 ・道府県読書推進運動協議会、全国の公共図書館、小・中・高の学校図書館、書店、会員社、マスコミなどへポスターを送付。掲出を要請 ・「文字・活字文化の日(10月27日)」と連携 ・全国優良読書グループ表彰の実施 ・道府県読書推進運動協議会へ行事補助金贈呈。行事報告を要請し、機関紙別冊に掲載
2020 第62回 こどもの読書週間	4月23日 ～ 5月12日 (20日間)	<ul style="list-style-type: none"> ・標語を募集、標語選定事業委員会にて決定。ポスター6万枚を製作 ・道府県読書推進運動協議会、全国の公共図書館、小・中・高の学校図書館、書店、会員社、マスコミなどへポスターを送付。掲出を要請 ・「子ども読書の日(4月23日)」と連携 ・道府県読書推進運動協議会へ行事補助金贈呈。行事報告を要請し、機関紙別冊に掲載
第50回 野間読書推進賞	贈呈式は 11月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・読書推進運動に功績があった団体および個人を顕彰(2団体2個人が基本) ・贈呈式は「読書週間」期間中に開催
2020 敬老の日読書のすすめ	敬老の日を 中心に	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を対象とした選定図書リーフレット14万3000部を製作 ・道府県読書推進運動協議会、全国の公共図書館、書店、会員社などへ送付
2021 若い人に贈る 読書のすすめ	1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・新成人、高校・大学の卒業生を対象とした選定図書リーフレット21万部を製作 ・道府県読書推進運動協議会、全国の公共図書館、高校・大学の図書館、書店、会員社などへ送付
『2018年度 全国読書グループ総覧』	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・5年に一度、全国の公共図書館および類縁機関を対象に行う読書グループの活動状況の調査報告 ・全国公共図書館協議会の協力のもと、2018年9月に都道府県立図書館・道府県読書推進運動協議会を通じて調査票を配布、11月に回答受け取り ・回答を集計し、その結果を『2018全国読書グループ総覧』として2020年6月に刊行。全国の公共図書館および類縁機関、会員、関係者などに配布する。
機関紙 『読書推進運動』	毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙『読書推進運動』を毎月発行するほか、別冊付録を年2回発行 ・発行部数 約5500部 ・道府県読書推進運動協議会、会員社、全国の公共図書館、関係団体などに送付
公式ホームページ	毎月2回更新	<ul style="list-style-type: none"> ・団体事業の発信 ・図書館、学校、書店の展示用に、新規素材のデータ配信を行う
受託、共催、後援、協賛		<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの読書推進会議」の事務局を担当 ・伊藤忠記念財団の「子ども文庫助成事業」の受託 ・文部科学省より「子ども読書の日」のポスター制作を受託 ・関連団体の読書推進事業を後援、協賛、協力
大震災出版復興基金	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・「〈大震災〉出版対策本部」の事務局に参加 ・「大震災出版復興基金」の口座管理 ・震災遺児たちへの図書カードプレゼント

■学校図書館賞・学校図書館出版賞決定

子どもたちの未来を拓き、
地域と歩む論文・実践が受賞

公益社団法人全国学校図書館協議会(全国SLA)は、「第50回学校図書館賞」と「第22回学校図書館出版賞」を決定、発表した。
『今年度の受賞者』(敬称略)

成・文、添田康平・富永泰弘写真の刊行
株式会社金の星社
事由Ⅱ『固有種が教えてくれること』(全3巻) / 今泉忠明監修の刊行
株式会社ポプラ社
事由Ⅱ『データの達人…表とグラフを使いこなせ!』(全4巻) / 今野紀雄監修の刊行

伊達深雪
事由Ⅱインターネット時代の読書指導―主体的対話で深い学びに導く学校図書館の試み―
〈実践の部〉
山口県立小野田高等学校
事由Ⅱ地域に飛び出す学校図書館 / 学校図書館を核として地域連携の可能性 /

『学校図書館出版賞は該当なし』
学校図書館奨励賞を受賞した伊達さんの論文は、読書環境が充実していない地域で、高校を最終学歴として社会に巣立つ生徒が接する学校図書館のあり方を追求。小野田高等学校は、日常の計画的な学校図書館の活用に加え、7年間にわたり全校で市立・県立図書館と連携・協力したさまざまな取り組みが、地域の読書文化振興にも大きく寄与した点が評価され

〈実践の部〉
豊島岡女子学園中学校高等学校
事由Ⅱ学校図書館の秘めたる力 / 生徒たちの可能性を最大限に伸ばし支えるためのしかけ作り (学校図書館大賞、学校図書館賞は該当なし)

『絵本 世界の食事』(全25巻) / 銀城康子文、マルタン・フェノ(ほか) 絵の刊行
学校図書館出版賞は該当なし
学校図書館奨励賞を受賞した伊達さんの論文は、読書環境が充実していない地域で、高校を最終学歴として社会に巣立つ生徒が接する学校図書館のあり方を追求。小野田高等学校は、日常の計画的な学校図書館の活用に加え、7年間にわたり全校で市立・県立図書館と連携・協力したさまざまな取り組みが、地域の読書文化振興にも大きく寄与した点が評価され

第22回学校図書館出版賞
株式会社石崎書店
事由Ⅱ『大接近! スポーツものづくり』(全6巻) / 高山リョウ構

出版賞の『大接近! スポーツものづくり』は、車いすバスケの競技用車いす、足型にあわせたラウンディングシューズなどスポーツ用品の製造の裏側を大きな写真と、やさしい文章で紹介。『固有種が教えてくれること』は、日本列島の成り立ちや地形と固有種の関係、固有種からわかる生態系や自然環境、絶滅危惧種、固有種を守る環境保護の取り組みなど、ビジュアルを使つて幅広く解説。『データの達人…表とグラフを使いこなせ!』は、小学校で学習するさまざまな表やグラフの特徴を紹介し、データから適切に表やグラフを作り分析する方法を、小学生のキャラクターをととも

た。豊島岡学園女子中・高校は、約15年にわたりつねに新しい読書活動を積極的に取り入れ、職員も巻きこみながら継続し、また、教員と図書館が連携して課題を抱える生徒を見守ってきたことなどが受賞につながった。

出版賞の『大接近! スポーツものづくり』は、車いすバスケの競技用車いす、足型にあわせたラウンディングシューズなどスポーツ用品の製造の裏側を大きな写真と、やさしい文章で紹介。『固有種が教えてくれること』は、日本列島の成り立ちや地形と固有種の関係、固有種からわかる生態系や自然環境、絶滅危惧種、固有種を守る環境保護の取り組みなど、ビジュアルを使つて幅広く解説。『データの達人…表とグラフを使いこなせ!』は、小学校で学習するさまざまな表やグラフの特徴を紹介し、データから適切に表やグラフを作り分析する方法を、小学生のキャラクターをととも

■公共図書館、学校図書館 感染防止ガイドライン

安心して図書館を利用するため
いまできることを

公益社団法人日本図書館協会(日図協)は、現在、ホームページにて「図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」「新型コロナウイルス時代の障害者サービスのヒント」を公開している。

対策下における学校図書館の活動ガイドライン」を発表。こちらではグループ学習時に気をつける点や探究学習をスムーズに進めるための情報発信、教職員・学校図書館担当者によるブックトーク動画の活用などを紹介。授業再開後の子どもたちの心のケアの一翼を、学校図書館が担う必要性にもふれられている。

「図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」では、密閉・密集・密接の「三つの密」を避けることに加えて、資料閲覧・貸出にともなう「接触感染」のリスクを軽減するために、図書館でできること、資料利用前後の手洗い消毒など利用者へ協力をお願いすることを紹介。それぞれの地域にあわせた対策を主体的にとるよう、提言している。「新型コロナウイルス時代の障害者サービスのヒント」では、直接接触や、機器の貸し出しをとまなう障がい者サービスでの留意点、対面朗読や宅配・配本サービスの活動例が紹介されている。

また、日図協、全国SLAともに、状況に応じ随時、ガイドラインの更新をするという。

また、公益社団法人全国学校図書館協議会(全国SLA)は、「新型コロナウイルス感染症拡大防止

また、日図協、全国SLAともに、状況に応じ随時、ガイドラインの更新をするという。

また、公益社団法人全国学校図書館協議会ホームページ
https://www.jla.or.jp/

また、公益社団法人全国学校図書館協議会ホームページ
https://www.jla.or.jp/

また、公益社団法人全国学校図書館協議会ホームページ
https://www.jla.or.jp/

また、公益社団法人全国学校図書館協議会ホームページ
https://www.jla.or.jp/

優良読書グループの歩み (7)

2019年度の「読書週間」に際して道府県読書推進運動協議会より推薦され、本会において表彰した全国の優良読書グループの活動報告を掲載いたします。
(順不同)

玉鉾読書会

代表者 石田 恭子

富山県射水市

富山県読書推進運動協議会
(推薦)

玉鉾読書会は、1989年に大門町立正力図書館の前田哲男館長ご指導の下、発足しました。「玉鉾」の意味をきかれると「道しるべ」と答えていると、当時の代表が新聞で紹介しています。1968年に発足した「婦人読書会」を継ぐ読書会からも会員の参加がありました。

現在は、射水市大門総合会館にて毎月第2水曜日に例会を行い、会員は男性3名・女性8名の11名です。60代から80代の元教師・元新聞記者・海外生活経験者など、幅広い経歴の面々が集まっており、世代や育った環境、生き方や考え方が多様性に富み、よい刺激となっています。そのため、課題



仲間と読む本を道しるべに歩む

の本を読む楽しみもさることながら、みんなのいろいろな意見を聞くのが楽しみで出席していると話す会員もいます。

例会の司会は輪番制を取っています。たまに本の話から離れ、世界の動向や政治の話、地元の昔話や日ごろ感じたりしていることを論じたりすることもありますが、毎回和気あいあいとして、とても楽しい会です。

5月の例会あとは、テキスト

ゆかりの場所を訪ねたり、社会学に行ったりしています。近年では、新湊博物館、福光美術館、瑞泉寺、能作(編集部注:富山県高岡市の鑄物工房)に行きました。1月には新年会を開き、親睦を深めております。

2001年10月25日には、第44回読みななまのつどい富山県大会が大門町総合会館で開かれ、われわれの読書会の会員が司会、お世話役として大活躍しました。このときのことを「わが読書会の誇らしいできごと」と話した会員がおられました。

テキストは、県立図書館から正力図書館を経由して届けてもらっていますが、今回はどんな本だろうかと毎月ドキドキワクワクしながら読んでいます。自分では絶対手に取らないだろうと思われる本も多く、感動したり、作者の意図を考えたり、ほかの会員の意見に納得したり、違いに驚いたりできるのも、この会に参加したおかげと喜んでいます。

このたび、第52回優良読書グループに玉鉾読書会が選ばれたことは、まことにうれしく、感謝しております。これも30年続いた会の先輩諸氏のおかげと思ひ、これからも、この会が長く続くことを

願っております。ありがとうございました。

寺田小学校お話クラブ

代表者 藤原ふみ江

京都府城陽市

京都府読書推進運動協議会
(推薦)

たつたひとりではじめられた絵本の読み聞かせや紙芝居。

それがいまの活動につながっています。いろいろ、想像もできないたいへんな苦労もあつたことでしょう。

がんばって続けてこられたことが、1996年に「寺田小学校お話クラブ」発足となりました。

現在の会員登録数は12名です。少しでも上手になりたい、どう話したら子どもたちにちゃんと伝わるか...など、ほかの読み聞かせサークルとの意見交換や、講師による勉強会などを行っています。

活動は毎月、1年生から6年生の決められた教室での朝の読み聞かせ、また、昼休み時間の図書室でのお話広場です。

そして、城陽市立図書館での「おはなしオルゴール」や、プラネタリウム館では絵本を大きく映して



子どもたちの心に残るおはなしを届けたい

見せながら読み聞かせをしています。

園児たちやほかの親子たちと一緒に歌を歌ったり、手遊びなどをして楽しい時間を過ごします。キラキラと輝く、好奇心いっぱいの子どもたちと接することで、私たちのほうが大きなパワーをもらって元気になります。

おはなしが終わると、子どもたちはいつも、みんなそろって大きな声で、「ありがとうございます。とてもうれいす。これからも、もつともつがんばろうという気持ちになります。私たちこそ「ちゃん」と聞いてくれてありがとうです。虐待やいじめの話が新聞やテレ

びで話題になっていますが、とても悲しいことです。私たちの活動が子どもたちの心のどこかに残り、大人になったとき、つぎの世代に、いま持っているあたたかい心を忘れずに、ちゃんと伝えていってほしいと思います。

今回、私たちの活動が認められたことは、会員一同、たいへん喜んでいきます。ここまでは続けてこられたのも、会員みんなの努力の積み重ねがあったのはもちろん、学校の先生方の協力があったからこそです。

絵本が子どもたちと私たちを繋いでくれています。日々成長している子どもたちの姿を身近に感じられるのは、とてもうれしいことです。まわりのみんなに感謝です。これからもずっと長くがんばっていきたいと思っています。

ふれあい読み聞かせボランティア「読聞読聞輪組輪組なかま」

代表者 川崎 潮美
熊本県天草市

熊本県読書推進運動協議会
〈推薦〉

1991年に牛深市(当時)が熊本県のモデル事業を受けて「地域づくり型母子保健計画」策定の

ためのチームを結成しました。これが「読聞読聞輪組輪組なかま」の前身です。この母子保健チームが親と子の健やかな子育ての環境づくり整備のために、作成したのが母子保健計画でした。計画は4つのテーマからなり、そのひとつが「読み聞かせ」でした。園や学校保護者へ読み聞かせを普及し、取り組みは、牛深地区全体に広がりしました。

その後、1999年11月に「母子保健推進委員」「母と子のつどいボランティア」「図書館」が一緒になって「ふれあい読み聞かせボランティア読聞読聞輪組輪組なかま」という名前をつけて、新しい会を結



おはなし会は「元気の素」!

成しました。発足当時は、事務局であった環境保健課(当時)所蔵の絵本などで、読み聞かせ以外に、絵本の貸し出しも行っていました。

絵本学習会を開催したり、片道3時間半かけて熊本県内の図書館へ視察に行き、読み聞かせボランティアグループと交流したりしました。

現在の活動は、幼稚園・保育園、小・中学校、高齢者福祉施設、乳児健診で読み聞かせ、牛深図書館では季節ごとのおはなし会を行っています。そのほか、市立図書館のボランティア講座や小学校保護者向けの講師も引き受けています。

最近では、おはなし会のプログラムに、わらべ歌なども取り入れ、子どもたちに、情緒豊かな心を育む美しい日本語を届けるよう心がけています。また、大人対象の「語りの交流会」も図書館と共催で実施しており、ストーリーテリングの普及と研鑽に努めています。

活動を続けてうれしいと思うことは、「読み聞かせのおばちゃん」と声をかけられることです。うれしい仲間と一緒にでき、地域の人たちとふれあえる読み聞かせ活動は、私たちの「元気の素」です。おはなし会に来てくれた子ども

もが親になり、自分の子どもを連れておはなし会に来てくれることもあり、長く続けてきたからこそ見られる光景かなと思います。

現在、会員23名。今後は、後継者育成に力を入れ、自分たちも楽しみながら、天草のあちらこちらにおはなしの種子をまいていきたいと思います。

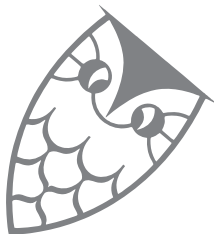
●「読書推進運動」お届け時期について

毎月15日発行の機関紙『読書推進運動』のお届け時期が、昨今の配達事情の変化にともない、本632号(2020年7月15日号)からこれまでより1〜2日遅くなりました。また、次号633号(2020年8月15日号)は、配達業者の夏期休業などにより、8月19日以降のお届けとなる予定です。

みなさまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご了承のほどどうぞよろしくお願いいたします。

●事務局通常業務のお知らせ

読書推進運動協議会事務局は、業務を緊急事態宣言以来縮小しておりますが、7月1日より通常業務に戻りました。ご理解・ご協力、ありがとうございます。(状況によっては再度の縮小も考えられます)



2018年度 全国読書グループ調査 読書グループ お名前調査 その1

～タイトル・キャラクター部門～

ついに刊行された『2018年度全国読書グループ総覧』。

編集部では、1万2000を超えてきた読書グループのデータをいつものとは違った角度から眺めてみようとして「全国読書グループ お名前調査」に挑戦しています。「動物」「植物」「食べもの」「自然現象」

など部門別に使われていることばを集計し、機関紙『読書推進運動』でベスト10を順次発表、最後に総合ベスト10を発表する予定です。

第1回目は「タイトル・キャラクター」部門。絵本・児童書はタイトル名にキャラクターのことも多いので、あわせての集計です。

～内はグループ数となります～
1位 42 『ぐりとぐら』
2位 34 『源氏物語』
3位 28 『となりのトトロ』
4位 27 『ぐるんば(の)ようちえん』

5位 25 『不思議の国のアリス』
6位 22 『ピノキオ』
7位 20 『マザーグース』『長くつ下の』『ピッピ』
8位 18 『青い鳥』『赤ずきん』

9位 16 『万葉集』
10位 15 『モモ』
次点 14 『コロポックル』『ブーさん』

使われているタイトル・キャラクターは合計206。第1位に輝いたのは『ぐりとぐら』。42グループのうち10は『ぐりとぐら』『ぐりとぐら』などとアレンジされています。

シリーズのキャラクターを名前にするグループもありました。2位は一般の本グループで圧倒的人気の『源氏物語』。ひとりでは読めない大長編古典をみんなで読もうという気持ちも伝わってきます。

ライバル?の『平家物語』(6)、『枕草子』(2)に大きな差をつけました。もうひとつ古典で人気を集めたのは『万葉集』。調査が元号「令和」発表前だったの

で、いまならもう少し上位かも知れない。『枕草子』(2)に大きな差をつけました。もうひとつ古典で人気を集めたのは『万葉集』。調査が元号「令和」発表前だったの

で、いまならもう少し上位かも知れない。『枕草子』(2)に大きな差をつけました。もうひとつ古典で人気を集めたのは『万葉集』。調査が元号「令和」発表前だったの

で、いまならもう少し上位かも知れない。『枕草子』(2)に大きな差をつけました。もうひとつ古典で人気を集めたのは『万葉集』。調査が元号「令和」発表前だったの

で、いまならもう少し上位かも知れない。『枕草子』(2)に大きな差をつけました。もうひとつ古典で人気を集めたのは『万葉集』。調査が元号「令和」発表前だったの

事務局報告(6月)

☆4日 会員各社へ2020年度定時総会案内を送付
☆9日 機関紙『読書推進運動』6月号データ入稿
☆10日 機関紙『読書推進運動』6月号責了
・10日 新型コロナウイルス感染症対策のため、子ども読書推進協議会第1回幹事会開催に替えて、説明資料を送付

☆12日 感染症対策のため、「敬老の日」読書のすすめ」書目選定事業委員会開催に替えて、各事業委員にメールでの投票・選考をお願い
☆15日 機関紙『読書推進運動』6月号発行
☆19日 『2018年度全国読書グループ総覧』責了

☆19日 『2020年度定時総会』開催。出席12名、委任状出席20名
2019年度事業報告および決算報告書、役員交替を承認
☆19日 『2020年度第1回理事会』を開催

・20日 『伊藤忠記念財団 子ども文庫 助成事業』応募締め切り
☆22日 第74回『読書週間』ポスターイラスト選定事業委員会案内を送付
・22日 『子ども読書推進会議 第1回総会案内』を送付

・22日 『子ども読書推進会議 年次報告書』入稿
・23日 『文部科学省と子ども読書の日』ポスターについて打ちあわせ
☆24日 『敬老の日読書のすすめ』書目投票を集計・確認のち、選定結果を各委員へ通知

☆25日 第73回『読書週間』ポスターイラスト募集締め切り
・25日 全国学校図書協議会『第25回日本絵本賞』の最終選考会に出席
☆26日 『2020年度 第2回 常務理事会案内』を送付

・26日 『とたかすひ』さんと『子ども読書の日』ポスターについて打ちあわせ
☆30日 内閣府に『2019年度事業報告』を提出

編集部 & 事務局のひとこと

●このたびの豪雨で甚大な被害を受けた地域、および、みなさまに心よりお見舞い申しあげます。この文章を書いている7月8日現在、各所で豪雨が続き、危険にさらされている方々も多いと存じます。みなさまのご無事を、祈念いたします。

●以前、この欄でつぶやいた「読書グループお名前調査」をほんのうに行っています。興味本位ではじめてみたら、これがなかなかいいへん。

「タイトル・キャラクター」部門だけでも206のことばがリストアップされていますので、全体ではどれだけの量になるのでしょうか。専修大学の野口武悟先生からは、「グループの設立年代別で集計してもおもしろいかも」と、魅力的なご提案をいただきましたが、そこまでいきつくことができたのか……。

●ここからは「タイトル・キャラクター」部門結果の補足です。ベスト10からお察しのとおり、この部門の対象は「子ども本グループ」が大部分を占めました。本文にあげた上位以降も、『いないいないばあ』『おおきな木』『スイミー』『はらぺこあおむし』『おおきなかぶ』などロングセラー絵本がずらりと控えています。それだけに3位の『トトロ』にはびびり！また、『どんぐりころころ』など、わらべ歌や手遊びを名前にしたグループも多くありました。

タイトルに入っていないキャラクター名で人気なのは『ディンカール』。206のことばのうち、使用グループが1のもの100でした。(伸)